

【眼瞼下垂とは】

◎老化やコンタクトレンズの長期使用などが原因で、まぶたが下がって開けにくくなる状態のことを言います。

◎以下のような症状のある方は、眼瞼下垂の可能性があるので、お気軽にご相談ください。

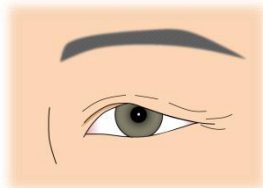
- ・まぶたが重く開けづらい
- ・額にシワが目立つようになった
- ・左右で目の大きさが違う
- ・肩こりがある
- ・視野が狭くなった
- ・昔に比べ目が小さくなった気がする
- ・偏頭痛がある
- ・上まぶたが凹んでいる
- ・眼精疲労が強い

◎「老化だからしかたがない」と、あきらめる必要はありません。
手術によって治療することができます。
手術方法は下垂の原因によって大きく2通りに分かれますが、両方同時に行うこともあります。

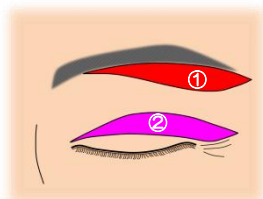
※麻酔は局所麻酔で、基本的に日帰り手術となりますが、ご不安な場合は入院も可能です。
※美容目的でなければ、健康保険が適用されます。
詳しい費用に関しては医師にお尋ねください。

【手術方法】

①皮膚がたるんでいる場合

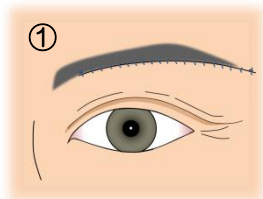


まぶたを開く機能は正常ですが、たるんだ皮膚が前に覆いかぶさって視野を塞いでいる状態です。視野を確保するために眉毛を上へ挙げる傾向があります。

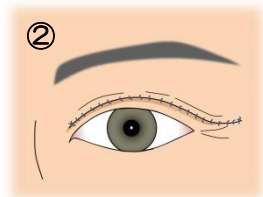


局所麻酔注射後に、たるんだ皮膚を切除します。

切除の方法は2通りあります。
①眉毛下の皮膚を切除する方法
②まぶたの皮膚を切除する方法



①眉毛下の皮膚を切除する方法
まぶたの皮膚に手を加えないため、より自然な二重になります。



②まぶたの皮膚を切除する方法
二重のラインをある程度自由に決められます。
皮膚の切除量が多い場合や、皮膚が厚い場合は、やや不自然な仕上がりがとなることがあります。



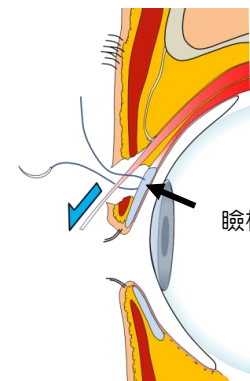
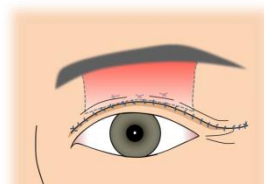
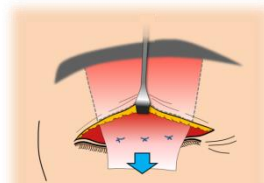
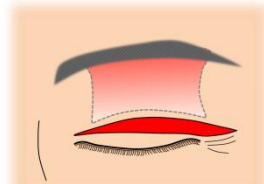
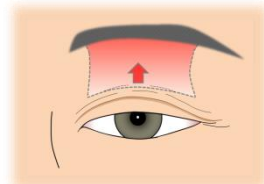
【術前】



【術後】

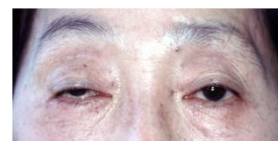
②まぶたの筋肉がゆるんでいる場合

上まぶたを挙上する筋肉（眼瞼挙筋）の一部がゆるんで、十分に目を開くことができない状態です。この場合も視野を確保するために、眉毛を挙げる傾向があります。



局所麻酔の注射後、二重のラインを切開し、ゆるんだ筋肉の一部を引っ張り出して、まぶたの瞼板という組織に縫合します。皮膚が余る場合には皮膚の切除も行います。

体を起こした状態で、十分に目が開くことを確認後、皮膚縫合して手術終了です。
術後は楽に目を開けることが可能となり、眉毛も本来の位置に下がってきます。



【術前】



【術後】

【手術までの流れ】

①医師の診察

できる限り理想のまぶたに近づけられるように、手術を担当する医師が皮膚の状態や、まぶたの筋肉の機能などについて詳しく診察を行います。

この際、術後との比較のため、写真を何枚か撮影させていただきます。



②手術日の予約、同意書の作成

手術をご希望される場合、患者様のご都合に合わせて、手術日を予約させていただきます。その後、患者様に合った手術法について担当医から詳しい説明があります。十分ご納得いただいてから同意書にサインをお願い致します。



③術前検査

手術に備え、感染症や出血しやすい病気をお持ちでないか、簡単な採血検査を行います。

※心臓や脳の病気で、抗凝固剤（血をサラサラにするお薬）を飲まれている方は診察時に必ず医師、または看護師にお伝え下さい。

【手術後の注意点など】

・手術終了後、30分～1時間、外来の安静室でまぶたのクーリングを行った後、出血等の問題がないことを確認してからご帰宅していただきます。

・ご帰宅後もできるだけ24時間はまぶたのクーリングを行なって下さい。

・1週間は激しい運動はお控え下さい。

・入浴は手術翌日から可能です。

・抜糸は1週間後の外来で行います。

・目元のお化粧品は抜糸翌日よりしていただいて構いません。

・抜糸後、手術から1か月後、3ヶ月後、6ヶ月後を目安に外来受診、及び写真の撮影をお願いしております。

☆その他、ご不明な点など有りましたら、形成外科担当看護師にご相談下さい。

社会医療法人

光生病院 形成外科

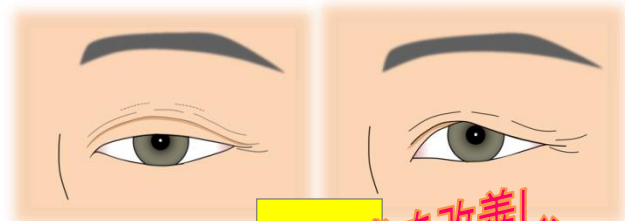
〒700-0985

岡山市北区厚生町3-8-35

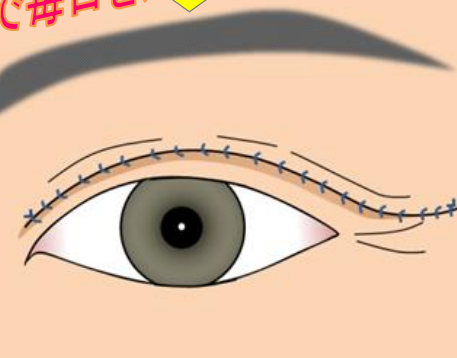
電話：086-222-6806

眼瞼下垂症の手術について

光生病院 形成外科



重たいまぶたの印象を改善し、輝く表情で毎日を過ごしてみませんか？



まぶた外来診察日

	月	火	水	木	金	土
AM		○				
PM						